

■阿佐ヶ谷区民センター第7会議室

■出席4名／欠席委任状 17名

議題 会則(案)の検討

○第1条 会の名称について

助成申請時には「日本尺八演奏家協会準備委員会」としていたが、開催は設立公演であり従って当日には「…準備委員会」ではなく団体名が必要となるため、団体名称の再検討を行った。

広くアマチュア演奏家も募り「日本尺八演奏家協会」でも良いのではという意見もあったが、尺八音楽の価値を高めるとい趣旨を考慮に、自主的な活動実績を有し演奏力の担保されるプロ演奏家による団体とすることとした。また活動を担うであろう次の世代の演奏家の参加を期待し、加わりやすい名称とすることとした。

⇒「日本尺八演奏家ネットワーク」とすることで一致した。

○第5条 正会員以外の会員についての検討

設立以降には演奏家以外の研究者・創作者および有識者に呼びかけ、参加要請を行いたいと考え「…および研究・創作を…」加えた。

○第6条 会員について

正会員 尺八の演奏を主たる職業とする

特別会員 主に研究者・有識者 ※総会における議決権なし

賛助会員 作編曲家等々 ※総会における議決権なし

協力会員 製作・指導をはじめとする協力団体または個人 ※総会における議決権なし

○第7条 入会の承認について

・プロ or アマの境界線を設けることは難しく、地方在住でのプロの存在や高齢になってからのプロ活動を行う方など様々な形態が議論された。

・自主的活動により実績を積み重ね、ある程度評価を得ている演奏家に正会員となって頂きたいとの思いで合意は得られた。また現状境界線を設けることは難しく、設立会員および中心となる運営委員の幅を広げながら、来年の第1回通常総会に向けて検討を継続的に行うこととした。

⇒会則案においては複数名会員の推薦の上運営委員会で承認としていたが、…複数名…を削り、…正会員または役員…とし、幅広い年代の運営委員参加により年に2回程度の承認検討会を開催することとした。

○第8条 役員について

・現段階において会員は5/10 出演者のみ21名となっており、運営委員の上限が15名となっており多過ぎはしないかとの意見もあったが、入会承認等の問題もあり幅広い年代の会員が運営に係って頂く意味も含め現状とした。

⇒代表の補佐として副代表のポストを加えることとし、副代表候補の方に依頼することとし、4項は…代表・副代表および…とした。

○第9条 会議の在り方について

・3項 運営委員会は、代表または副代表の出席のもと必要に応じて開催することとした。

第6条を考慮に 4項を加えた

・4.総会における議決権は正会員のみが有する

・会則案 4項は5項とした

○附則1 正会員および運営委員について

2項は、本会設立時の正会員とした

3項は、運営委員会による入会承認検討会のため、ベテラン陣より数名の候補を選定し依頼をする事とした。

★上記をもって会則を修正承認し、施行した★

○その他検討議題

・細則を設ける必要性の検討

役員の選出や運営委員会の決定方法について、第1回総会に向け検討を続ける事とした。

○入会依頼について

⇒会費もなく経費節減のためメールでの依頼を行い、7月末日を期限とし下記の方々に依頼を行う事とした。
大御所ベテラン陣への入会依頼は今後検討を続ける／入会依頼文を検討/国内在住の外国籍尺八演奏家についても議論※国内在住者に依頼をすることとした

・第1弾 入会依頼リスト

ベテラン演奏家を中心に検討した

臨時総会 議事録 2019.9/9

■2019年9月9日(月)13:00～15:30

■阿佐ヶ谷区民センター第6集会室 於

■出席 10名／欠席 37名(委任状有り)／無返信 4名

<議題>

○議題1 会則改正および追加

・顧問の新設

<現行会則>

第6条 本会の会員は次のとおりとする。

2.正会員 3.特別会員 4.賛助会員(サポーター)

<追加会則>

5.顧問 尺八界において相応の功績があり、運営委員会で推挙の上承認された者

⇒尺八界の重鎮より選出することを前提に承認、新規顧問1名を選出承認された

⇒顧問および特別会員の入会依頼は、引き続き運営委員会において検討することとした

○議題2 新規入会募集について

・8月入会の報告/承認 ※2月締切の入会依頼時の「締め切り後返信」「無回答」の方への再依頼

⇒新規入会者:5名／入会辞退:1(一門含む)+1名／無回答24名

⇒上記新規入会者の承認を行い、来年度定期公演の出演を依頼することとした

今後の特別／正会員候補の推薦

⇒特有の会の入会辞退により JSPN が一つの派閥のように感じさせるような状況になるのでは?という意見もあったが、地に足の着いた活動を通じて理解を深めて行くこととした

⇒運営委員の選出に関し会則には記述なく、立候補および推薦により選出することとし、現状としては総会において承認とし、会則修正・追加も含めて運営委員会において検討することとした

⇒2020年1月に新規入会依頼を行うこととし、数名の候補者の名前が上げられ引き続き運営委員会で検討することとした

候補:上記無回答候補者に加え7名が推薦され計31名

○議題3 設立公演報告(収支含む) ※資料配布

<収支報告>

⇒助成金の入金の確認され、ほぼ赤字の無いこと出演会員よりの寄付額等の説明を行い承認された

<反省点>

⇒入場券販売の多くが出演会員によるものであり、一般販売の拡張を考慮に Web ページや SNS での働きかけを検討した

⇒アンケートにより指摘のあった「メクリ」は次回より無くし、受付において演奏曲の案内を行うこととした

○議題4 今後の事業検討 ※資料配布

⇒事業の企画検討/遂行は、会員への相談および告知の方法について検討が必要ではないかとの指摘

があり、今後総会や運営委員会における情報を出来る限り会員に提供し、共有して頂くことにより理解を深めて頂くこととした

○議題 5 JSPN 事業について

・第2回定期公演 企画説明／出演者募集

⇒アーツカウンシル東京・松尾芸能振興財団への助成金申請を7月に行っているため、出演者を確定した上で、プログラム内容を運営委員会で検討し、申請団体には変更届を提出することとした

・「奏法講座」「セレクトコンサート」 企画説明／是非／承認

⇒担当者3名を選出し、予算の検討や日程調整および出演者募集の検討を行うこととした

⇒「奏法講座」「セレクトコンサート」は交互に2ヶ月に一回の開催が望ましく、2019.11月中にアナウンス出来るよう上記担当において検討を進める事とした

⇒各催しにおいて「通し券」ではなく「回数券」制度を設ける事とした

⇒「セレクトコンサート」開催会場候補:杉並公会堂小ホール グランサロン サニーホール・・・

○議題 4 その他 ※資料配布

・設立公演 DVD 製作販売について

・「奏法講座」「セレクトコンサート」と同時掲載のチラシを作成し配布販売を行う事とした

⇒印刷物への掲載は、設立公演の詳細はHpに有るため最小限度とする事とした

・海外での販売を考慮に英文の作成を行う ※2名を担当候補とした

・サポーター対策について

⇒既入会サポーター個々に番号伝えた上で、特典情報をメールにて送付 ※2名を担当候補とした

⇒HPにサポーター会員ページを設け特典情報を掲載

第1回通常総会 議事録 2019.5/2

■日時 令和元年5月2日 17:00～19:00

■場所 新宿区立津久戸小学校(みんなの広場)

■出席 特別会員2名／正会員32名 欠席 委任12名／無返信7名

○設立の趣旨&経緯説明・協力の呼びかけについて

⇒狂宴での実績や経験を踏まえて、流派を超え他尺八独自の団体の必要性を感じ、呼びかけに応じて頂いた演奏家により「設立準備委員会」発足。設立公演を行うこととし、企画の検討を行った上でアーツカウンシル東京に助成金申請を行い予算額の半額程度の助成を得ることが出来た。会則作成や入会依頼および設立公演の準備を進め、2018年7月8日設立総会を開催し名称を「日本尺八演奏家ネットワーク(JSPN)」として正式設立

<議題>

○議題 1 会則について

・尺八音楽と演奏家の価値を高める為、そのきっかけを作り、若い人に継いで欲しいとの趣旨説明

・現在(令和元年5月2日時点)、正会員(演奏家)51名、特別会員(有識者)10名、の入会の報告

○議題 2 運営委員選出について

・本日(令和元年5月2日)より、2年任期、5人～15人の定員

⇒設立準備委員会(2018年7月8日～本日まで)12名を設立運営委員として選出された

・代表について「流派によらない方が良い」「学術関係者が良いのでは」という意見を参照に、特別会員2名に依頼を行ったが固辞されたことを報告

⇒引き続き有識者を中心に選考・依頼を運営委員会にて行う事とした

第1期 運営委員への立候補/推薦を出席者に募る

⇒立候補/推薦無く、設立時の運営委員(代表・副代表・事務長含む)が留任となった

・第1期 運営委員 ※設立運営委員の留任

石川利光、小濱明人、川村葵山、小湊昭尚、菅原久仁義(代表)、善養寺恵介、田辺刈山(事務局)、田野村聡、徳丸十盟、野村峰山(副代表)、松本宏平、元永拓

○議題3 本年度事業計画について

・入会依頼した演奏家の選出および選出基準について説明

⇒基本的に選出基準としてはプロがプロと認める演奏家

⇒5/10 設立公演後、保留者・新規も含めて再依頼を行う予定

・サポーター(賛助会員/法人・団体)5 団体・サポーター(賛助会員/個人)20 名ほどの入会

⇒設立公演での働きかけをはじめ、さらに入会者を募り入会に見合う事業を展開しなければならない

⇒サポーターへのケアについて、奏法講座(楽曲講習ではなく)・トライアルコンサートの企画・物販(会員への特典)・メールマガジンなど、正会員に提案を求める。

○出席者全員による JSPN に対する意見交換・提案

<情報交換/尺八情報>

・教え方など、情報交換できる場に

・提案を吸い上げられるように、ディスカッションできるように。

・尺八の正しい歴史知識を共有しよう。

・一般人にもっとわかりやすく、そして尺八のことなら JSPN にという立場になれば。

・国際化の波をよく注視する事、日本のオリジナルティと精神性をもっと大切に。尺八の音楽性だけではなく、付随する文化や精神を。

⇒これまでは設立公演に向けての準備会議が中心であったが、まずは定期的な運営委員会を開催

<インターネット・SNS の活用>

・インターネット番組(演奏家同士の会話、飲み会を見せる等)

・インターネット、ネット中継など英語版。

・ホームページとフェイスブックを分けて、しっかりと発信、英語発信の必要性。

・正会員同士の SNS 上でキャッチボールができれば。

・サポーターからのリクエスト受付コーナー設置。

・正会員それぞれの演奏情報をホームページ上で一覧できるようにしてはいかかがか。

<会員入会依頼>

・「家元/重鎮」に対しての配慮が必要。

⇒これまでも入会依頼は行ってきたが、「家元/重鎮」も含め設立公演後に、顧問・特別会員としての入会依頼も含めて検討を続けていきたい

<将来的な展望>

・子供への普及の難しさ、子供会のようなものを。

・幼児教育用の教材や、指導法を作りたい。

・尺八コンクールの開催(学生向き、プロ向き)

・後進を伸ばすような団体でありたい。

・演奏 MC や舞台監督経験の情報共有。

・作曲家や洋楽エアリード系楽器奏者との交流。

・NPO、社団法人化などを将来的に目指してはいかかがか。

・作曲家の立場から。同じ尺八でも楽器や奏法に様々な違いがある事が面白い。いい作曲家に正式に委嘱依頼をしてほしい、継続して作曲家を育てて欲しい。

・プロの演奏家が東京に集中しすぎではないか、地方では尺八の宗教的側面が盛んのような気がする、地方にもプロの演奏家を、これらを考えるシンポジウムの開催。

○議題4 本年度予算案について

現状では「設立公演」を成功裏に終えることを最優先したため、具体的な事情が確定しておらず、従って予算案は提出せず

⇒運営委員会にて引き続き検討を行い、「奏法講座」「ミニコンサート」等の具体的な事業を早急に確定を進めた上で予算も検討して行くこととした

出来る限り会費の徴収は行わず、JSPN 主催の催しにより収益を上げる事、サポーター(賛助会員/法人・団体・個人)をさらに募り、運営経費とするという方向性を提案

⇒そのためには上記事業を進めることし承認された

第2回通常総会（電子書類による）2020.04/30～05/10

新型コロナウイルスの影響により2020年度の第2回通常総会は開催が困難となり、止むを得ず議決権を有する正会員に対し議題を電子書類として送信検討頂いた。半数以上の返信(委任状含む)を頂き、各項目とも半数以上の承認を得て議決事項とした。

・返信 委任状 17名(代表/運営員他)／全承認 16名 ※2020.5.10 締切期日までの返信

<議案> ※承認事項

○第1号議案 会則の変更

・将来的に流派や所属に捉われず代表を選出するため、下記の会則の変更を行うこととした。

第8条 本会は次の役員を置く

旧) 4.代表・副代表および事務長は運営委員の互選によるものとする

新) 4.代表・副代表および事務長は運営委員会による推挙の上承認されたものとする

第9条 本会の会議は総会及び運営委員会とし、前第3条の目的を達成するため会議を行う

旧) 5.定期総会以外の会議は、必要に応じて代表により招集され開催する

新) 5.定期総会以外の会議は、必要に応じて代表または副代表により招集され開催する

○第2号議案 役員選出／会員勧誘募集

・現 運営委員の任期は来年2021年までとなりますが、新規の方が推薦・検討され承認された。

現運営委員 石川利光 小濱明人 川村葵山 小湊昭尚 菅原久仁義(代表) 善養寺恵介
田辺頌山(新) 田辺洌山(事務局) 田野村聡 徳丸十盟 野村峰山(副代表) 松本宏平
元永拓 計13名

・新規会員募集担当を3名選出し、会員よりの推薦や会員の要件・資格を検討を続けながら、特別会員も含めて広く募集を行う事とした。

⇒会則や会員の要件・資格を具体的にHpを通じて公開した上で、開かれた募集を担当により随時行こととした。

⇒会員の要件・資格に関しましては、現在代表を中心に検討作成中。

○第3号議案 2019年度事業報告

<事業報告>

賛助会員(企業法人/個人)募集入会 ※収支報告書参照

⇒設立公演を契機に賛助会員(サポーター/企業団体5組・個人約50名)入会頂くなど、事業を積極的に行う事により活動費を得、設立の趣旨ならびに活動の指針に対する理解が深まることを期待し、今後も継続依頼・新規募集を行う。

⇒個人サポーターへのケアが不十分であり、今後は定期的な情報発信が出来るよう体制を整えていきたいと考えている。

<2019.05/10 設立公演>

⇒アンケートの回収率が30%を超えていることに驚き、関心の深さを感じた。全体的には企画や演奏に関して、概ね満足頂いていたように思う。また公演後にはSMS上でも話題となり、ご来場頂いた他の和楽器演奏家からも多くの「いいね！」や好意的な書き込みを頂いた。

⇒出演会員の楽曲に対する理解力や取り組む姿勢が前提となるが、プロ演奏家の音楽性や演奏力を感じて頂く良い機会となった。

⇒会場の8割程度は埋まったとはいえ、出演会員による販売が中心となった集客となり、当初の来場・販売目標を下回るもので、プロの演奏家団体としては物足りないものであった。また集客に直接繋がる広報活動に関して、今回は邦楽専門誌への掲載と和楽器関係の催しへのチラシ配布が中心となったが、今後はメディアに対するアプローチや、Web・SNSによる情報発信を含めた、広報の方法を試行錯誤しつつ継続的に探って行きたいと考えて行きたい。

<設立公演 DVD 発売>

⇒質の高いコンテンツとして限定200セットを製作販売し、好評のうちに予定販売数をクリアでき活動費を得ることが出来た。

⇒出演者への著作権解放の承諾が前後してしまいお手数をお掛けした。また出演会員による販売が半数となり、告知や宣伝方法を模索して行きたいと考えている。

<第1回「尺八奏法講座」開催>

⇒雪の舞う天候での開催となったが、意識の高い受講者を迎え質の高い講座となった。

⇒告知期間が少なく少人数となってしまったので、今後宣伝や告知の方法を工夫して行きたいと考えている。

＜第2回定期公演＞

⇒出演者/プログラムも確定し新作曲もほぼ出来上がり、チラシ配布・チケット販売の準備や邦楽ジャーナルへの広告も掲載(4月号)していたが、来年2021年5月開催予定で延期とした。出演者/プログラムはスライド予定であり、ホールもまだ押さえられないため改めての報告となる。またアーツカウンシル東京助成金の一部は、開催準備金として請求申請の準備を進めている。

○第4号議案 2019年度(第1回)決算報告 ※別紙参照

○第5号議案 2020年度(第2回)事業計画案

・上記定期公演の延期に伴い、第2回定期公演は会場の確保→出演者の確定(補充含め)を2020年5月以降に行うこととした。

・現在の状況においては「尺八奏法講座」ならびに「尺八サロンコンサート」は無期限延期の予定である為、状況の変化を注視しつつ開催時期を運営委員会および担当において検討を続ける予定。

・希望的には「尺八奏法講座」は年末～2021年4月(年度内)に第2回・第3回を、「尺八サロンコンサート」

は年度内に第1回が開催できればと考えている。

オンラインを利用した事業を、会員の皆様のご協力を得て提案/検討・実行して行きたいと考えている。

・活動が思うように行えない現状の中、円滑な運営を行い団体としての基盤整備を進め活動再開後の状況の変化に対応できるよう、役割分担や運営ルールを検討し進めて行きたいと考えている。

また賛助会員(サポーター)の更新依頼・勧誘や、新規会員(正・特)の募集を速やかに行いたいと考えている。

○第6号議案 2020年度(第2回)予算案 ※添付参照

上記事業延期などにより収入支出とも縮小した計上となったが、オンラインを利用した事業を展開することにより運営費の捻出が出来ればと考えている。